

1. 卒業要件の見方

2011～2018年度入学者

【複合文化学科】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134単位）を修得しても卒業不可となります。

要件を満たし、24単位を履修すること。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	12	—	◇人文系・社会系・自然系・総合系・体育系に属する科目を修得し、合計12単位を履修すること。 ◇所定単位数に算入される科目は、履修科目表を参照してください。
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	6	◇外国語Aの履修は、単位を履修し、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を履修すること（履修科目表を参照）。 ◇外国語Bの履修は、本紙「外国語」を参照してください。
		コミュニ	2		
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)	—	
		初級			
		中級			
上級					
その他の外国語	—	—	◇外国語A以外の外国語科目を履修した単位は、卒業要件に係わらずに履修すること。		
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	10	50	◇複合文化学科の卒業要件を満たし、合計124～134単位を履修すること。 ◇所定単位数に算入される単位は、履修科目表を参照してください。
		2年	20		
		3年	10		
		4年	10		
	専門 選択科目	A群	4	16	
		B群	8		
		C群	2		
		D群	2		
②《卒業所定単位数》		124		◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計84（88～92）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。	

【上限単位数】
科目区分ごとの、卒業必要単位数に算入できる上限単位数。例えば、「共通科目」が20単位まで卒業単位数に算入されるとすると、仮に共通科目で24単位修得しても、4単位分は算入されません。
複合文化学科の場合、上限単位数はありません。

【英語卒業要件】
卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数（124～134単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「2. その他の注意事項」）

2. その他の注意事項

- ① グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。（例：「General Tutorial English（中級）」は教育学部では「初級」の扱いとなります。）
- ② 1年必修「複合文化学テーマ演習Ⅰ」「複合文化学テーマ演習Ⅱ」は自動登録されません。各自でWeb履修申請が必要です。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

教務・成績・教育 > 試験成績 > 成績照会

学生検索

1E13A000 さんの成績です。

学籍状態	在学中
判定結果	
外国語	
クラス	A1
発表開始日付	2012年10月30日 09時00分

単位修得状況の照会
伝達事項があります
※必ず確認してください。

クリック

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目名	取得年度	学期	単位	成績
◎教育学部共通科目◎				
【人文系】				

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件
2011年度以降入学の複合文化学科の場合、
以下の要件があります。
※入学年度によって要件が異なります。

- ① 専門選択科目 A群から 4 単位修得
- ② 専門選択科目 B群から 8 単位修得
- ③ 専門選択科目 C群から 2 単位修得
- ④ 専門選択科目 D群から 2 単位以上
- ⑤ 英語卒業要件

2010 年度以前入学者は、専門選択科目 A群～ I 群それぞれから必要単位数を修得する必要があります。詳細は授業ガイドをご確認ください。

科目区分名	所定	既得	算入
教育学部共通科目			
人文系・社会系	4	8	8
自然系	4	2	2
数理情報系		0	0
総合系		2	2
小計	12	12	12
体育系		0	0
小計		12	12
外国語 A	6	6	6
<西語(基礎)>	4	4	4
<西語(コミュ基礎)>	2	2	2
外国語 B		4	4
外国語その他		0	0
小計	6	10	10
一年必修	10	10	10
二年必修	20	10	10
<選択言語:西語I>	6	6	6
<選択言語:西語II>	6	0	0
三年必修	10	0	0
<選択言語:西語III>	2	0	0
<選択言語:西語IV>	2	0	0
四年必修	10	0	0
小計	50	20	20
専門教育科目(選択)	16	8	8
自由選択科目		4	4
教職課程科目		0	0
小計		4	4
小計		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		0	0
《上記以外の卒業要件》		0	0
複合文化学科A群	4	4	4
複合文化学科B群	8	4	4
複合文化学科C群	2	0	0
複合文化学科D群	2	0	0
英語卒業要件(上級以上)	4	4	4
総合計	124	54	54

【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご確認ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【複合文化学科】

《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法	
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	4	12	◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。
	社会系				
	自然系				
	数理情報系				
	総合系				
	体育系				
外国語科目	外国語A	基礎	4	6	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B(英語)は、別表《卒業要件・英語》を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす(以下同様)。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
	外国語B (英語)	基礎	(4~8)		
		初級			
		中級			
上級					
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	10	50	◇複合文化学科設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計50単位を修得すること。 ◇複合文化学科設置の選択科目A群から4単位、B群から8単位、C群から2単位、D群から2単位の合計16単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて卒業単位の算入される。
		2年	20		
		3年	10		
		4年	10		
	専門 選択科目	A群	4	16	
		B群	8		
		C群	2		
		D群	2		
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—	◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。	
他箇所 設置科目 ※	他学部科目	—	—	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
	他大学科目	—	—		
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	—		
	教職課程科目※ (教職に関する科目のみ)	—	—	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計		84 (88~92)			

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計84(88~92)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4~8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計4単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。手続期間は春学期末・秋学期末の15週目、16週目の期間です。手続方法については、毎学期掲示や教育学部ホームページで案内します。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで / 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準	英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上	実用英語技能検定（英検）	1級
TOEFL (iBT)	73点以上	—	—

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

- 科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	4～12単位
外国語科目	《外国語A》6単位、《外国語B》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》10単位及び《選択科目》からA群の科目を4～8単位
自由選択科目	0～8単位

- 教育学部共通科目の「複合文化学の建築物Ⅰ～Ⅳ」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
- 外国語A科目の「ツールとしての外国語 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] Ⅰ～Ⅴ」、「外国語演習 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] Ⅰ～Ⅳ」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
- 「ツールとしてのICT1」「ツールとしてのICT2」「ツールとしての統計処理」（いずれも1年必修）は学籍番号により履修する組が指定されます。
- 「複合文化学テーマ演習」は履修するクラスを各自の希望により選択してください。

◇2年次以降の外国語関連の専門科目（「ツールとしての外国語」「外国語演習」）

1年次に《外国語A》として選択した言語を、原則として2年次以降も継続して学習することになります。

外国学生は外国語Aは原則として日本語となります。この場合、2年次以降の外国語関連の専門必修科目については、以下の科目で代替することができます。ただし、入学時に外国語Aとしてドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語を履修することが認められた場合は、その後の扱いは日本人学生と同じになります。

ツールとしての外国語Ⅰ	ドイツ語研究／ドイツ語圏の社会と文化／ドイツ語圏の文学／フランス語研究／フランス語圏の社会と文化／フランス語圏の文学／中国語研究／中国語圏の社会と文化／中国語圏の文学／スペイン語研究／スペイン語圏の社会と文化／スペイン語圏の文学／現代日本文化の諸相*／日本文学とメディア*／日本のことばと文学（基礎）★／日本のことばと文学（応用）★
ツールとしての外国語Ⅱ	
外国語演習Ⅰ	
外国語演習Ⅱ	
外国語演習Ⅲ	
外国語演習Ⅳ	
外国語演習Ⅰ	
外国語演習Ⅱ	
外国語演習Ⅲ	
外国語演習Ⅳ	

以上のうちから8科目16単位履修

◇ゼミ

「複合文化学演習（1～17）Ⅰ」「複合文化学演習（1～17）Ⅱ」（3年必修）、「複合文化学演習（1～17）Ⅲ」「複合文化学演習（1～17）Ⅳ」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。

- ① 「複合文化学演習（1～17）Ⅰ」は2科目選択して下さい。履修科目は2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習（1～17）Ⅰ」を履修するためには以下の各科目を修得する必要があります。

「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「ツールとしてのICT1」2単位、「ツールとしてのICT2」2単位、「ツールとしての統計処理」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅰ」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅱ」2単位、選択A群から2科目4単位以上。

- ② 「複合文化学演習（1～17）Ⅱ」「複合文化学演習（1～17）Ⅲ」「複合文化学演習（1～17）Ⅳ」は同一の算用数字の科目を、それぞれ1科目ずつ選択して下さい。履修科目は3年生の春学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習（1～17）Ⅱ」を履修するためには、「複合文化学演習（1～17）Ⅰ」1科目2単位以上を修得する必要があります。また、「複合文化学演習（1～17）Ⅲ」「複合文化学演習（1～17）Ⅳ」を履修するためには、「複合文化学演習（1～17）Ⅱ」を修得する必要があります。

◇留学

2年次秋学期から1年、2年次秋学期あるいは3年次春学期から半年留学を希望する場合、以下の条件を満たせば、4年間で卒業することが可能です。2年次春学期から1年あるいは半年留学を希望する場合は、①の条件を満たせば（ただし1年次ですべての単位修得が条件）、原則可能です。それ以外の留学についてはその限りではありません。

①留学前まで3年ゼミ登録に必要な科目の単位修得

「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「ツールとしてのICT1」2単位、「ツールとしてのICT2」2単位、「ツールとしての統計処理」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅰ」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅱ」2単位、選択A群から2科目4単位以上

②留学先で外国語専門必修に該当する科目を履修し、帰国後に単位認定を行うこと

留学先で外国語専門科目（中国語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／ロシア語の外国語「演習」）に該当する科目を可能なかぎり履修し単位を修得することが望ましい。

外国語専門科目はⅠからⅣまで、積み上げ式に履修することが定められており、留学前および留学後の取りこぼしは許されません。

③留学先で3年ゼミ春学期（複合文化学演習Ⅰ）に相当する科目を履修し、帰国後に単位認定を行うこと。

留学希望者は以上の点に留意し、準備してください。留学前には必ず複合文化学科主任に相談し、何をなすべきか、指導を受けることを義務づけます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

【複合文化学科】

《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	4	12	◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。
	社会系				
	自然系				
	数理情報系				
	総合系				
	体育系				
外国語科目	外国語A	基礎	4	6	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）は、別表《卒業要件・英語》を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)		
		初級			
中級					
	上級				
	その他の外国語				
専門教育科目 (自学科)	専門 必修科目	1年	10	50	◇複合文化学科設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計50単位を修得すること。 ◇複合文化学科設置の選択科目A群から4単位、B群から8単位、C群から2単位、D群から2単位の合計16単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて卒業単位の算入される。
		2年	20		
		3年	10		
		4年	10		
	専門 選択科目	A群	4	16	
		B群	8		
		C群	2		
		D群	2		
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	——		——	◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	——		——	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。
	他大学科目	——			
	自由選択科目 (全学部対象科目)	——		——	
	教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	——		——	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。
	①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計	84 (88～92)			

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計84（88～92）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計4単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで / 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験 (ITP・IP) も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準	英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上	TOEIC	690点以上
TOEFL (iBT)	73点以上	実用英語技能検定 (英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

- 科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	4～12単位
外国語科目	《外国語A》6単位、《外国語B》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》10単位及び《選択科目》からA群の科目を4～8単位
自由選択科目	0～8単位

- 教育学部共通科目の「複合文化学の建築物Ⅰ～Ⅳ」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
- 外国語A科目の「ツールとしての外国語 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] Ⅰ～Ⅴ」、「外国語演習 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] Ⅰ～Ⅳ」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
- 「ツールとしてのICT1」「ツールとしてのICT2」「ツールとしての統計処理」（いずれも1年必修）は学籍番号により履修する組が指定されます。
- 「複合文化学テーマ演習」は履修するクラスを各自の希望により選択してください。

◇2年次以降の外国語関連の専門科目（「ツールとしての外国語」「外国語演習」）

1年次に《外国語A》として選択した言語を、原則として2年次以降も継続して学習することになります。

外国学生は外国語Aは原則として日本語となります。この場合、2年次以降の外国語関連の専門必修科目については、以下の科目で代替することができます。ただし、入学時に外国語Aとしてドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語を履修することが認められた場合は、その後の扱いは日本人学生と同じになります。

ツールとしての外国語Ⅰ	ドイツ語研究／ドイツ語圏の社会と文化／ドイツ語圏の文学／フランス語研究／フランス語圏の社会と文化／フランス語圏の文学／中国語研究／中国語圏の社会と文化／中国語圏の文学／スペイン語研究／スペイン語圏の社会と文化／スペイン語圏の文学／現代日本文化の諸相*／日本文学とメディア*／日本のことばと文学（基礎）★／日本のことばと文学（応用）★
ツールとしての外国語Ⅱ	
外国語演習Ⅰ	
外国語演習Ⅱ	
外国語演習Ⅲ	
外国語演習Ⅳ	
外国語演習Ⅰ	
外国語演習Ⅱ	
外国語演習Ⅲ	
外国語演習Ⅳ	

以上のうちから8科目16単位履修

◇ゼミ

「複合文化学演習 (1～17) Ⅰ」「複合文化学演習 (1～17) Ⅱ」（3年必修）、「複合文化学演習 (1～17) Ⅲ」「複合文化学演習 (1～17) Ⅳ」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。

- ② 「複合文化学演習 (1～17) Ⅰ」は2科目選択して下さい。履修科目は2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習 (1～17) Ⅰ」を履修するためには以下の各科目を修得する必要があります。

「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「ツールとしてのICT1」2単位、「ツールとしてのICT2」2単位、「ツールとしての統計処理」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅰ」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅱ」2単位、選択A群から2科目4単位以上。

- ② 「複合文化学演習 (1～17) Ⅱ」「複合文化学演習 (1～17) Ⅲ」「複合文化学演習 (1～17) Ⅳ」は同一の算用数字の科目を、それぞれ1科目ずつ選択して下さい。履修科目は3年生の春学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習 (1～17) Ⅱ」を履修するためには、「複合文化学演習 (1～17) Ⅰ」1科目2単位以上を修得する必要があります。また、「複合文化学演習 (1～17) Ⅲ」「複合文化学演習 (1～17) Ⅳ」を履修するためには、「複合文化学演習 (1～17) Ⅱ」を修得する必要があります。

◇留学

2年次秋学期から1年、2年次秋学期あるいは3年次春学期から半年留学を希望する場合、以下の条件を満たせば、4年間で卒業することが可能です。2年次春学期から1年あるいは半年留学を希望する場合は、①の条件を満たせば（ただし1年次ですべての単位修得が条件）、原則可能です。それ以外の留学についてはその限りではありません。

①留学前まで3年ゼミ登録に必要な科目の単位修得

「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「ツールとしてのICT1」2単位、「ツールとしてのICT2」2単位、「ツールとしての統計処理」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅰ」2単位、「複合文化学テーマ演習Ⅱ」2単位、選択A群から2科目4単位以上

②留学先で外国語専門必修に該当する科目を履修し、帰国後に単位認定を行うこと

留学先で外国語専門科目（中国語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／ロシア語の外国語「演習」）に該当する科目を可能なかぎり履修し単位を修得することが望ましい。

外国語専門科目はⅠからⅣまで、積み上げ式に履修することが定められており、留学前および留学後の取りこぼしは許されません。

③留学先で3年ゼミ春学期（複合文化学演習Ⅰ）に相当する科目を履修し、帰国後に単位認定を行うこと。

留学希望者は以上の点に留意し、準備してください。留学前には必ず複合文化学科主任に相談し、何をなすべきか、指導を受けることを義務づけます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。